

現場に自生していた山ユリでしたが・・・、

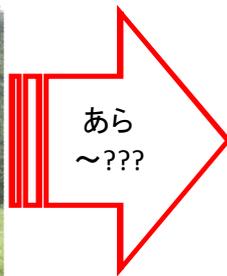
※後で調べたら、姥ユリ(ウバユリ)という品種でした。



独特のフォルムの花弁が超ク〜ルでした。  
花弁はこれで満開です。クリオネ似?



や〜っぱり看板が必要かな?



☆本州、中部地方以北から北海道それに千島、サハリンに分布。山地帯から亜高山帯のやや湿った林内に生え、高さは1.5~2メートルになります。葉には単子葉植物にはめずらしく、網状脈があります。7月から8月ごろ、茎の上部に緑白色の花を横向きに咲かせます。花は10数年に一度咲き、花後は枯れてしまいます。鱗茎にはデンプンが含まれ、食用にされてきました。

花が無い!!! もう笑うしかないのかな〜?

いずれは、花の種、球根で増やしていってみたいと思っていましたが、これも叶わぬ夢となりました。

しかし、球根が無事であれば増やすことも可能になるみたいなので、なんとか頑張って増やしてみます。

葉っぱが枯れているように見えるのは、この品種独特の特性で、花が咲けば葉が枯れてくるそうです。あとは球根が無事であることを祈るだけです。

※下の写真 2枚は参考写真です。

花が終われば種子に

球根の状態はこんな感じ



## 大槌町復興再生支援プロジェクト

### 『はまぎく運動』試験農場

大槌町 有志の会

ボランティア組織 かわいキャンプOB会

- ・ちなみに『はまぎく』の花言葉は、【逆境に立ち向かう】です。
  - ・主役は大槌町民であり、ボランティアは知恵と工夫を提供する脇役に徹すること。
  - ・いやみにならずに、前を向いて進みましょう。という願いを込めて。
  - ・仮設に住んでいる人だけでなく、全ての町民が分け隔てなく参加できる場の提供。
- という願いもこめて、**仮に作成してみました。皆さんの忌憚のない意見を募集しています。**